

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月10日

大阪府知事 殿

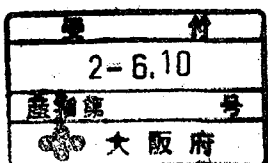
提出者

住 所 大阪府柏原市円明町1000番18

氏 名 サムテック株式会社
代表取締役社長 阪口善樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-977-8851



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	サムテック株式会社 羽曳野工場
事業場の所在地	大阪府羽曳野市駒ヶ谷1452番3
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	31：輸送用機械器具製造業
②事業の規模	年商：179億円（国内163億円、海外16億円） 2019年度実績
③従業員数	387人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)	
別紙のとおり	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成31年度)実績】						
	<table border="1"> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td> <td>汚泥 プレ工程</td> <td>廃油 プレ工程</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>400 t</td> <td>475 t</td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	排出量	400 t	475 t
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程				
排出量	400 t	475 t					
(これまでに実施した取組) ・生産設備の保守・メンテを充実させ発生を抑制した。 (汚泥・廃油)							
②計画	【目標】						
	<table border="1"> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td> <td>汚泥 プレ工程</td> <td>廃油 プレ工程</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>380 t</td> <td>451 t</td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	排出量	380 t	451 t
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程				
排出量	380 t	451 t					
(今後実施する予定の取組) ・鍛造工程の産廃発生工程と排出量を調査し、産廃削減を計画する。 ・二度焼き材の削減を行い、プレ工程の汚泥の発生を抑制する。 ・クーラント油、作動油の回収経路を改善してFF工程の廃油の発生を抑制する。 ・サイクルテストの回数を削減して、サイクルテスト工程の廃油を抑制する。 ・アルミと炭素繊維の分離化を図り、バーステスト工程の廃油を抑制する。							

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	①現状									
	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ バーステスト機	混合廃棄物全行程		
	241 t	5 t	28 t	0 t	1 t	5 t	2 t	190 t		
②計画	②計画									
	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ バーステスト機	混合廃棄物全行程		
	229 t	5 t	27 t	0 t	1 t	5 t	2 t	181 t		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	①現状									
	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ バーステスト機	混合廃棄物全行程		
	241 t	5 t	28 t	0 t	1 t	5 t	2 t	190 t		
②計画	②計画									
	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ バーステスト機	混合廃棄物全行程		
	229 t	5 t	27 t	0 t	1 t	5 t	2 t	181 t		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、廃油、廃プラスチック、引火性廃油はそれぞれに分別、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成31年度)実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまで実施した取組) ・実施していない										
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定無し										
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成31年度)実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(これまで実施した取組) ・実施していない											
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定無し											

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項											
①現状	【前年度(平成31年度)実績】		①現状								①現状											
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない																						
②計画	【目標】		②計画								②計画											
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定していない																						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			産業廃棄物の処理の委託に関する事項								産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状	【前年度(平成31年度)実績】		①現状								①現状											
	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程	産業廃棄物の種類	汚泥 プレ工程	廃油 プレ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクルテスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程
	全処理委託量	400 t	475 t	241 t	5 t	28 t	0 t	1 t	5 t	2 t	190 t	全処理委託量	400 t	475 t	241 t	5 t	28 t	0 t	1 t	5 t	2 t	190 t
	優良認定処理業者への処理委託量	400 t	475 t	241 t	5 t	28 t	0 t	1 t	5 t	2 t	190 t	優良認定処理業者への処理委託量	400 t	475 t	241 t	5 t	28 t	0 t	1 t	5 t	2 t	190 t
	再生利用業者への処理委託量	t	475 t	241 t	t	t	0 t	t	t	t	t	再生利用業者への処理委託量	t	475 t	241 t	t	t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) ・産廃情報ネット等の情報を参考に、委託基準を順守できる産廃処理業者の内、特に優良認定処理業者を優先して選定し、定期的に処理状況の現地確認を行っています。																						

②計画	【目標】		②計画		②計画						
	産業廃棄物の種類	汚泥 プラ工程	廃油 プラ工程	廃油 FF工程	廃プラ FF工程	廃プラ 出荷工程	引火性廃油塗装工程	廃プラ FW工程	廃油 サイクリスト機	廃プラ パーテスト機	混合廃棄物全行程
	全処理委託量	380 t	451 t	229 t	5 t	27 t	0 t	1 t	5 t	2 t	181 t
	優良認定処理業者への処理委託量	380 t	451 t	229 t	5 t	27 t	0 t	1 t	5 t	2 t	181 t
	再生利用業者への処理委託量	t	451 t	229 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェストの導入を予定しており、対応可能な処理業者であるとともに優良認業者を優先して選定することとします。 委託処理業者に対しては、引続き定期的に処理状況の現地確認を行う。 										
※事務処理欄											

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。